

Title	はじめに
Sub Title	
Author	神成, 文彦(Kannari, Fumihiko)
Publisher	慶應義塾大学 博士課程教育リーディングプログラム オールラウンド型「超成熟社会発展のサイエンス」
Publication year	2019
Jtitle	リーディングプログラムの軌跡 (2018.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12005003-00002019--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

はじめに

神成 文彦

リーディングプログラム（オールラウンド型）
コーディネータ 理工学部教授



慶應義塾は、新しい博士人財育成を目指し、8年前に文部科学省支援の下、リーディングプログラムを開始しました。3年間で文理に跨る2つの修士号を取得した上で博士学位を取得することにより、主専攻の学術基盤の枠を大きく超えることで問題意識、価値感を広げるとともに、5年間にわたる社会人メンターによる密度の高い指導により、社会課題解決に挑戦できる人財を育成するという、極めて野心的なプログラムを慶應義塾大学大学院で全学的に展開して参りました。ご関係の皆様のご尽力のお蔭で、育成された学生たちは、今まで新卒博士の職場ではなかった企業ビジネス部門や中央省庁に就職し、すでに高い評価が得られています。また、プログラム修了生と現役生との交流も密に維持できており、有益なアドバイスが寄せられています。

こうした大きな成果が後押しとなり、2018年3月末で7年間の文部科学省支援が終了しましたが、慶應義塾は、新しい変革が求められる今こそ、未来社会創造をプロデュースできる文理融合分野に長けたリーダーを育成するため、独自の高度博士人財育成システムを構築し、文系・理系を越えて分野横断的領域で活躍する人材育成の意義を広く社会に発信すべきであるとの考えから、独自の予算でこの高度博士人材育成プログラムをそのまま継続し、2019年3月末には3期生が修了します。

このように本プログラムが期待を超えた成果を生んで発展できましたことは、文部科学省の7年もの長きにわたるご支援、並びに、産業界・自治体からご参加いただいたボード会議のメンバー、メンターの皆様をはじめとした学外の関係者、そして主専攻・副専攻の指導教員やプログラム担当者を始めとする学内の関係者のご理解とご指導のおかげであります。皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、引き続き本学の高度博士人材育成のために、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いたします。